

※今大会は、学校関係者以外では出場者の保護者のみ観戦することができます。

詳細は【観戦希望保護者の方へ】で確認してください。今後、無観客での大会実施となる可能性があります。

## 開催実施要項

### 1 大会名

令和4年度 秩父宮賜杯第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会福岡県予選会

### 2 主催

福岡県高等学校体育連盟 福岡県教育委員会 福岡陸上競技協会

### 3 後援

福岡市教育委員会 西日本新聞社

### 4 主管

福岡県高等学校体育連盟陸上専門部

### 5 期日

(1) 開会式 実施しない

(2) 競技 第1日目 令和4年5月27日(金) 11時00分 競技開始予定

第2日目 令和4年5月28日(土) 10時00分 競技開始予定

第3日目 令和4年5月29日(日) 10時00分 競技開始予定

(3) 閉会式 実施しない

### 6 会場

東平尾公園博多の森陸上競技場：福岡市博多区東平尾公園2丁目1-2 TEL 092-611-1515

### 7 競技規則

2022年度日本陸上競技連盟競技規則による

### 8 競技方法

1. 2022年度日本陸上競技連盟規則及び、選手注意事項に準じて行う。

2. 学校対抗とする。(ただし男子及び女子別にする)

3. 種目得点 6. 5. 4. 3. 2. 1. 点とする。

### 9 種目

(男子) 100M 200M 400M 800M 1500M 5000M 110MH 400MH 3000MSC 5000MW  
4×100MR 4×400MR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳

砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 混成競技 計21種目

(女子) 100M 200M 400M 800M 1500M 3000M 100MH 400MH 5000MW

4×100MR 4×400MR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳

砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 混成競技 計20種目

## 10 引率・監督について

1) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。

個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。

2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

## 11 参加資格及び競技方法

(1) 生徒は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

(2) 生徒は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得たものであること。

(3) 福岡陸上競技協会に登録された者（チーム）であること。

(4) 年齢は2003年（平成15年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。

(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、陸上競技専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りではない。

(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

(9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外の(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ. 上記(4)については学年の区分けをもうけない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。

ウ. 学年の区分をもうけている課程に在籍する生徒の出場は、3学年までとする。

## 12 参加制限

(1) 各ブロック予選会において8位までの入賞者（リレーは8チーム）とする。ただし、筑豊ブロックにおいては6位までの入賞者（リレーは6チーム）、中部ブロックにおいては10位までの入賞者（リレーは10チーム）とする。また、男女の走高跳、棒高跳は8位までの入賞者8名、筑豊ブロックにおいては6位までの入賞者6名、中部ブロックにおいては10位までの入賞者10名とする。

(2) 競歩競技については、南部4位・北部5位・中部6位・筑豊3位までの入賞者とする。

(3) 混成競技においては、各ブロック6位までの入賞者、ただし、筑豊ブロックにおいては4位までの入賞者、中部ブロックにおいては8位までの入賞者とする。

(4) 1種目1校3名以内、リレーは1校1チーム6名以内とし、同一人は3種目以内（リレーを除く）とする。

### 13 参加申込

(1) 高体連の参加申込書に記載されている個人情報について

- 利用目的 ・大会競技プログラムまたは福岡県高体連HPへの掲載
- ・参加資格の確認(年齢・転校など)
- ・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表する事とする。

参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。

(2) 申込期日 令和4年5月18日(水) 必着(締め切り厳守)

(3) 申込先 各ブロック専門委員長宛

(4) 申込書類 学校長の参加申込書2部(申込一覧)…入学(編転入学)年月日を記入する。

### 14 個人情報及び肖像権について

上記取り扱いについては、高体連HP「個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に記載のとおりとする。

### 15 参加負担金

個人1人500円を参加負担金として徴収する。

【後日、県高体連事務局が取りまとめて各学校に徴収】

### 16 表彰

団体、個人種目共に第3位まで賞状、総合優勝には、優勝旗等を授与する。

### 17 取得制限(北九州地区大会について)

本予選会で各種目6位までの入賞者は北九州地区大会の出場資格を得る。また、走高跳、棒高跳は6位までの入賞者6名とする。競歩、混成、女子三段跳、女子ハンマー投は4位まで、女子棒高跳は4位までの入賞者4名が北九州地区大会への出場資格を得る。

日時：令和4年6月16日(木)～19日(日)

会場：SAGAサンライズパーク SAGAスタ

参加負担金：1名 1,800円

※県大会終了後参加負担金(1,800円×人数分)を納めて頂きます。

### 18 備考

1. 出場者は胸部、背部に「アスリートビブス」をつけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の出場者は、背または胸の一方だけでもよい。
2. やり投のやりは各自持参し検査の上使用を認める。
3. リレーに出場のチームは、各校の同一ユニフォームを着用すること。
4. 全天候であるので、スパイクシューズのピンはトラック9ミリ、フィールド12ミリ以下のものを使用し、先の鋭利なピンは不可とする。
5. 審判員の指示に従い、不測の事故の起こらないようにすること。

※ 問合先：福岡県立筑前高等学校 凌 拓朗 Tel092-807-0611

## 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

福岡県高等学校体育連盟

令和4年4月1日

福岡県高等学校体育連盟は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

### (1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ア 大会プログラムに掲載される。
- イ 競技会場でアナウンス等により紹介されることがある。
- ウ 競技会場外の掲示板等に掲載されることがある。
- エ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがある。
- オ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがある。

### (2) 競技結果（記録）等の取り扱い

- ア 新聞・雑誌及び県高体連等関連ホームページ等で公開されることがある。
- イ 大会プログラム掲載の個人情報とともに掲載される。
- ウ 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがある。

### (3) 肖像権に関する取り扱い

- ア 県高体連及び各競技専門部で認められた報道機関によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び高体連関連ホームページで公開されることがある。
- イ 県高体連及び各競技専門部で認められた報道機関によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。

### (4) 対応について

- ア 取得した個人情報を前記利用目的以外に使用されることはありません。
- イ 参加申込書の提出により、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応する。なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、県高体連専門部及び当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。
- ウ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種の委員や補助員等大会関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応する。

令和4年度 全国大会福岡県予選 競技順序 第1日目

トラック

順序	性別	種目	ラウンド	組数・着取り	開始時刻
1	男子	8種100m		3組	11:30
2	女子	1500m	予選	2×6+3	11:45
3	男子	1500m	予選	2×6+3	12:00
4	女子	400m	予選	4×3+4	12:20
5	男子	400m	予選	4×3+4	12:35
6	女子	100mH	予選	4×3+4	12:55
7	男子	5000mW	決勝		13:30
8	女子	400m	準決勝	2×3+2	14:10
9	男子	400m	準決勝	2×3+2	14:20
10	女子	100mH	準決勝	2×3+2	14:40
11	女子	1500m	決勝		15:10
12	男子	1500m	決勝		15:30
13	女子	400m	決勝		15:50
14	男子	400m	決勝		16:00
15	女子	100mH	決勝		16:10
16	男子	8種400m		3組	16:20
17	男子	4×100mR	予選	4×1+4	16:50
18	女子	4×100mR	予選	4×1+4	17:10

フィールド

順序	性別	種目	ラウンド		開始時刻
1	女子	棒高跳	決勝		11:00
2	男子	ハンマー投	決勝		11:00
3	男子	8種走幅跳		2ピット	12:30
4	女子	走高跳	決勝		13:00
5	女子	ハンマー投	決勝		13:00
6	男子	走幅跳	決勝	2ピット	14:00
7	男子	8種砲丸投			14:00
8	女子	やり投	決勝		15:30
9	男子	砲丸投	決勝		16:00

令和4年度 全国大会福岡県予選 競技順序 第2日目

トラック

順序	性別	種目	ラウンド	組数・着取り	開始時刻
1	女子	7種100mH		3組	10:00
2	男子	8種110mH	予選	3組	10:20
3	女子	100m	予選	4×3+4	10:35
4	男子	100m	予選	4×3+4	10:45
5	女子	800m	予選	4×1+4	11:00
6	男子	800m	予選	4×1+4	11:20
7	女子	400mH	予選	4×1+4	11:40
8	男子	400mH	予選	4×1+4	12:00
9	女子	100m	準決勝	2×3+2	12:20
10	男子	100m	準決勝	2×3+2	12:30
11	男子	3000mSC	予選	2×6+3	13:00
12	女子	800m	決勝		13:30
13	男子	800m	決勝		13:35
14	女子	400mH	決勝		13:45
15	男子	400mH	決勝		13:55
16	女子	100m	決勝		14:05
17	男子	100m	決勝		14:10
18	女子	5000mW	決勝		14:20
19	女子	7種200m		3組	15:00
20	男子	8種1500m		2組	15:15
21	女子	4×100mR	決勝		15:35
22	男子	4×100mR	決勝		15:45
23	男子	5000m	決勝		15:55
24	女子	4×400mR	予選	4×1+4	16:30
25	男子	4×400mR	予選	4×1+4	17:05

フィールド

順序	性別	種目	ラウンド		開始時刻
1	女子	7種走高跳		2ピット	11:00
2	男子	棒高跳	決勝		11:00
3	男子	8種やり投			11:20
4	女子	7種砲丸投			13:00
5	男子	8種走高跳		2ピット	13:05
6	男子	やり投	決勝		13:30
7	女子	走幅跳	決勝	2ピット	14:00
8	男子	走高跳	決勝		15:00
9	女子	円盤投	決勝		16:00

令和4年度 全国大会福岡県予選 競技順序 第3日目

トラック

順序	性別	種目	ラウンド	組数・着取り	開始時刻
1	男子	110mH	予選	4×3+4	10:00
2	女子	200m	予選	4×3+4	10:20
3	男子	200m	予選	4×3+4	10:35
4	男子	110mH	準決勝	2×3+2	11:40
5	女子	200m	準決勝	2×3+2	11:55
6	男子	200m	準決勝	2×3+2	12:05
7	女子	3000m	決勝		12:20
8	男子	110mH	決勝		13:10
9	女子	200m	決勝		13:25
10	男子	200m	決勝		13:30
11	女子	7種800m		3組	13:50
12	男子	3000mSC	決勝		14:10
13	女子	4×400mR	決勝		14:40
14	男子	4×400mR	決勝		14:50

フィールド

順序	性別	種目	ラウンド		開始時刻
1	女子	三段跳	決勝	バック側 2ピット	10:00
2	女子	7種走幅跳		2ピット	10:00
3	男子	円盤投	決勝		10:00
4	女子	7種やり投			12:00
5	男子	三段跳	決勝	2ピット	12:30
6	女子	砲丸投	決勝		13:00

# 競技注意事項

※【競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ】を必ず確認して参加すること。

## 1 競技規則について

- (1) 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

## 2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 予選	競技開始30分前	競技開始15分前
トラック競技 決勝	競技開始20分前	競技開始10分前
走高跳	競技開始70分前	競技開始60分前
棒高跳	競技開始120分前	競技開始110分前
走幅跳・三段跳	競技開始60分前	競技開始50分前
砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投	競技開始70分前	競技開始60分前

- (3) 招集の手順

- ① 競技者は出場種目の招集時刻（点呼開始時刻）に招集所で点呼を受けて、スタート地点またはピットに移動する。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 棄権をする競技者は、本人または引率教員が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ④ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通り受けること。オーダー用紙提出後は変更できない。ケガ等の特別な理由がある場合は本部に申し出る。大会ドクターかトレーナーの診断を受け、変更を認めることがある。招集時間終了後は変更できない。
- ⑤ リレー種目で大会ドクターかトレーナーからの診断を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日以降大会に参加する場合は再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
- ⑥ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。
- ⑦ 混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつける。第2種目からは、現地で混成係に招集（トラック競技20分前、フィールド競技40分前）を受ける。棄権するときも必ず現地で申し出る。混成控室は設けない。

## 3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部に付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを右腰や後方につけること。



#### 4 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.70・1.85(練習) 1.70 1.75 1.80 1.85 1.88 (以降3cm)

女子走高跳 1.30・1.45(練習) 1.35 1.40 1.45 1.50 (以降3cm)

男子棒高跳 2.80・3.50・4.30(練習) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.70 (以降10cm刻み)

女子棒高跳 2.00・2.50・3.30(練習) 2.00 2.20 2.40 2.60 2.80 2.90 (以降10cm刻み)

混成競技走高跳 A・Bピットの選択は、競技者が当日現地にて行う。

男子八種 Aピット 1.55(練習) 1.55～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

Bピット 1.25(練習) 1.25～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

女子七種 Aピット 1.30(練習) 1.30～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

Bピット 1.00(練習) 1.00～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

- (2) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (3) スパイクシューズのピンの使用は9mm以下。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- ※福岡陸上競技協会ホームページに掲載されている **【重要】** 競技会で使用する靴底の厚さについてを確認して下さい。
- ※フィールド競技用シューズのTR5.5適用除外措置については、基本的に国内でのみ通用する記録として取り扱います。
- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (5) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (6) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (7) リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 通信機器(携帯電話・トランシーバー等)等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。

#### 5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし、レーンに余裕がある場合には次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選する。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
- (2) 抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。対象者は特にアナウンスに注意すること。

#### 6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは個人持参の物の使用を認める。男女やりについては、個人持参の物を主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) 検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間(通告する)を決めて行う。

## 7 練習について

- (1) フィールド競技（ハンマー投を除く）の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。
- (2) 雨天練習場使用は感染対策を行い利用する。
- (3) 投てき競技（ハンマー投を除く）の練習は、本競技場内のみとし、本競技場外での練習は厳禁とする。
- (4) ハンマー投の練習については、投てき練習場で行う。（男子の招集完了までは男子、女子の招集完了までは女子とする）投てき練習場には競技者及び引率者以外は立ち入らないこと。ハンマー投は、本競技場で公式練習を2回行う。
- (5) 投てき競技に出場する競技者は、事故防止に十分に注意すること。

## 8 表彰について

- (1) 表彰は行わない。第3位までの入賞者に賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (3) 入賞者の得点、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

## 9 北九州地区予選大会について

本大会において上位6位以内の競技者については、6月16日（木）～19日（日）SAGAスタジアムで開催される全国高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権北九州地区予選会の出場権を得る。男女走高跳、男棒高跳は6位までの入賞者6名とする。男女混成競技・男女競歩競技・女子三段跳・女子ハンマー投については上位4位までとする。女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。

## 10 その他

- (1) 記録については通告をするが、別にフィニッシュライン側の競技場外側に掲示する。
- (2) 雨天練習場は感染対策を行い利用する。
- (3) 各校の応援用横断幕は、メインスタンドには張らないこと。のぼり旗についてはメインスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。
- (4) 集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。また、タイム読みも禁止する。拍手での応援は可。フィールド競技を行っている際のその付近での応援（拍手）は禁止する。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。100mゴール付近の更衣室のみ利用可。
- (6) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。
- (7) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。